●日本遺産構成文化財紹介

のへじ祇園まつり（町指定無形民俗文化財）

北前船によって上方から伝わったとされる祭礼行事です。盛岡藩の祭りの形態も見られることから、海と陸の交流拠点である野辺地ならではの山車まつりです。

①

浜町の常夜燈（じょうやとう）

（町指定史跡）

船が安全に出入りできるよう文政１０年（１８２７）に野辺地の北前船主野村治三郎によって建立されました。
北前船の寄港地として栄えた歴史を伝える町のシンボルです。

②

末社金刀比羅宮本殿（まっしゃことひらぐうほんでん）

（県重宝）

北前船の海上安全を祈願するために町内の廻船問屋たちによって、文政５年（１８２２）に勧請寄進された社です。
優れた彫刻が各所に見られます。

③

旧野村家住宅離れ（行在所）蔵付き（あんざいしょ）

（国登録有形文化財【建造物】）

現在の野辺地町役場敷地内にある行在所は、北前船で財を成した豪商野村治三郎の別邸です。明治９年（１８７６）に明治天皇が巡幸されたときに宿泊されました。明治２３年（１８９０）の大火で焼失後に同一設計で再建されました。

河原決明の茶がゆ（かわらけつめい）

北前船で上方から伝えられたとされる河原決明を焙じたお茶で炊いたお粥です。

④北前船関係資料群［所蔵：野辺地町歴史民俗資料館］

客船帳（きゃくせんちょう）（町指定有形文化財）

船宿を営んでいた五十嵐家の江戸時代から明治初期までの顧客名簿です。野辺地湊への入船記録や、どのような物資が運ばれてきたかなどを具体的に示す貴重な史料です。

野村家文書（のむらけもんじょ）

北前船で財を成した野村家の古文書です。仕切り状、北前船で寄港する各地の商人との取引記録等が残されています。

和磁石（わじしゃく）

自船の位置と進行方向を知るために北前船で使用されていました。

船箪笥（ふなたんす）

北前船に積み込まれていた箪笥。取引に必要な帳面や往来手形等の貴重品を入れていました。船箪笥は水の侵入を防ぐ桐材で作られ、船が沈んでも水に浮くようにできています。

仙台屋永記録（せんだいやえいきろく）

船問屋・仙台屋彦兵衛家の業務手引きです。北前船の構造や計測法のほか、取引内容や税金徴収方法なども記載されています。

●ここもみどころ

●かつての常夜燈近辺

昔の海岸線は旧道路のあたり。ここには蔵が立ち並び、蔵町と呼ばれていました。

●旧上北銀行（野村家）

ここには、豪商・野村治三郎家の邸宅が建っていました。
現在地：野辺地町役場付近

●旧大まん旅館

この建物は明治時代に建てられた旅館でした。ここら一帯は旅館が並び、長旅で疲れた船乗り達が、数多く泊まっていたそうです。

北前船が運んだ石造物

町内の寺社には、町内外の北前船主や商人達によって寄進された石造物が残っています。

⑥

愛宕公園の石畳

この石畳は、かつて本町の道路に敷かれていました。石の産地は瀬戸内海の小豆島で、船を安定させるために船底に積まれた石（バラスト）として、北前船により運ばれてきました。

⑦

常光寺の常夜燈と手洗石

６代目野村治三郎の持船によって積まれ運ばれてきた御神燈です。瀬戸内海から運ばれてきた手洗石もあります。

⑧

野辺地八幡宮の御神燈

北前船主・野村家を中心とした商人等によって建立されました。この御神燈には、いつ、どの船で運んだか刻まれています。

⑤北前船船乗りの墓及び擬宝珠（ぎぼし）（西光寺）

●北前船船乗りの墓
野辺地湊までの航海中や在町中に亡くなった北前船船乗りの墓です。

●擬宝珠
各地の北前船主達が寄進した擬宝珠です。

西光寺の手洗石

「加州橋立（石川県加賀市）の商人・小餅屋六兵衛と、野辺地の商人・西村金之丞によって建てられました。
手洗石は年代が記載されておらず、いつ頃寄進されたものか、残念ながらわかりません。

⑨